

うるま市の蝶
シリーズ®

オオゴマダラ



オオゴマダラの羽化直後の様子

蝶になるまで 感動、感動、感動!!

「あ!おおごまだらだけだ～」

そう、子どもにとっては言いにくい名前、それがうるま市の蝶、日本一大きい「オオゴマダラ」です。

ホウライカガミの葉に産みつけた卵を、
蟻やハチから守るために、虫かごに入れ
餌を与えると、太ったまるでピロード生地
の感触によく似た幼虫になります。よく観
るとそれぞれの身体の模様が微妙に違う
のを発見!個性豊かな子ども達と同じだ～。

虫かごの上部にしっかりくっついたピカ
ピカ金色さなぎは、まるでイヤリング! ぷ
るんぷるんと全身の力を振り絞り殻を脱
いで蝶になる姿には、感動し思わず涙が...
ゆっくり羽を乾かして飛び立っていき優雅
な姿を見ると思わず「やったー」と大声を
張り上げたくなります。幼虫からわすかひ
と月の間にたくさんの感動を与えてくれ
るオオゴマダラは、やっぱり日本一! おま
けに飛んでいったオオゴマダラは、また卵
を産みに来てくれる帰巣本能を持った律
儀な蝶でもあります。あっぱれ!

(文・写真)
うるま市ちようちよう愛好会
副会長 喜屋武 昌美



地上にとまるオオゴマダラに興味津々の子どもたち

羽ばたけ!! スポーツ少年団



サッカー

みどり キッカーズ

昭和50年4月に、「宇堅みどり
・新城清吉監督」として、県内で1
番早く結成され、昭和52年に「み
どりキッカーズ」にチーム名を変更
しました。神田監督、玉栄、知念、
瑞慶山コーチの指導のもと、天願小
学校に通う児童30名が日々、練習や
交流試合で心と体を鍛えています。
これまで500名以上のOBを輩
出しており、県内外で選手・指導者と
して活躍している人も数多くいま
す。全日本大会2回出場、トロピカル
カップ優勝など輝かしい成績を収め
ていますが、ここ最近では地区予選を
突破できず、県大会には出場して
いません。
「練習は厳しく、試合は楽しく」
を合言葉に練習に励み、地区予選、
県大会優勝、九州・全国大会出場が
チームの目標です。
監督や父母は、互いにカバー、サポ
ートしあいチームワークを大事にし
る仲のよい友達同士であって欲しい
と子ども達の成長に期待しています。



野球

赤道 ゴールドスターズ

平成16年12月に結成されたチームは、
現在、部員数23名と少数ながら、島袋
義孝監督、比嘉薫、仲程友政、嘉数直
コーチの指導のもと、「1球1打」に
魂を込めて!今この瞬間を輝こうを合
言葉に日々の練習に励んでいます。
チームの特徴は、守備の要で4年生
ながら野球センスチームNO.1、ショ
ートの山内優菜、スピード派ピッチャ
ーの徳田貴之、小柄ながら守備範囲の
広い青原安恭、打撃好調な比嘉伶、城
間楽人、一発に期待したい仲程翔がチ
ーム全体を盛り上げています。
4年生を中心としたチームですが、
着実に子どもたちは力を付けつつあり、
「県大会で優勝し、県外の強豪チーム
と対戦すること」がチームの目標です。
常に感謝の気持ちを忘れずに、野球
を通して連帯感と友情を深めて欲しい
と、監督や父母は頑張る子どもたちに
エールを送っています。